

Richart ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第218号

ななえ古写真物語

VOL.218

理想郷その後

ユートピア大沼

昭和44年ころ

東大沼地区



Nanae Historical
Museum Collection

ユートピア。1516年に、イギリスのトマス・モアが出版した『ユートピア』に登場する架空の国の名前で、理想郷や桃源郷と訳される言葉である。意味としては、何処にもない、素晴らしく良い場所といったところだろうか。

この言葉にあやかり、北海道開道100年の節目に、北海道や渡島管内の市町村からの支援を得て、七飯町が昭和44年に建設した施設が「七飯町営国民宿舎ユートピア大沼」である。今は廃駅となった銚子口駅から、徒歩5分ほどの場所に、野球場、ソフトボール場、テニスコート、パークゴルフ場、屋内の温水プールも併設されていた。国民宿舎なので、誰でも気軽に利用でき、かつ価格はさほど高くないため、旅行やスポーツ、レクリエーション、会議、研修会などに利用されていた。

部屋は19室すべて和室で、ぶな、いちい、もみじ、からまつといった、植物の名を部屋名として、約90人の受入れが可能だった宿泊施設である。もちろん温泉も完備しており、約63.6℃の弱アルカリ性低張性高温水で、神経痛や筋肉痛、関節痛、慢性消化器病に効能があったという。

そんなユートピア大沼を上空から撮影したが、上の写真で、中央右側が野球場、左側に宿泊施設、それらの間にある空き地には、プール施設が造られることになる。

当時はまだ、吉野山スキー場も営業しており、かつ駒ヶ岳登山客も多く、修学旅行で大沼を訪れる人も多かったのも、まさに、現実世界から少し離れ、非日常を楽しむための施設を目指したであろうことが、施設名からうかがえる。また、町営であったこともあり、利用拡大のための営業は、役場職員も行っており、当時の書類を見ると、渡島・檜山地区にある中学校を訪問し、校長と教頭に直接会って、施設の概要や、設備などを説明して誘致していた。現在、多くのことを外部委託という形で済ませてしまっている行政組織と比べると、かなり重責のある仕事だったと想像される。

しかしながら、年々利用者数の減少に悩まされ、平成9年3月には国民宿舎としてのユートピア大沼を廃止し、「七飯町青少年センターユートピア大沼」として再出発することになる。野球場やプール施設だった場所は再整備し、東大沼多目的グラウンド「トルナーレ（イタリア語でおかえりの意味）」として生まれ変わり、平成12年には、シドニーオリンピック直前のサッカー日本代表の合宿地となった。そして、その後も赤字続きのため、平成24年の3月で廃業。建物も失われた。

理想郷を重ねた施設「ユートピア大沼」。往時の賑わいは、遠い夢だったかの如く、グラウンドだけが残されている。

8日 知内町さんの見学

新しい年もはじまり、最初の見学は、知内町郷土資料館の「ミュージアム・パル」の皆さん。常設展示室と特別展『聖山』を学芸員が解説し、ゆっくりとご覧いただきました。常設展示室の農具では、知っているものや、実際に使っていたものなどのお話しに花が咲き、町によって使い方や呼び名が違うなどの声に耳を傾けることは、とても興味深く、勉強になることが多いです。また特別展では、聖山遺跡の成り立ちや魅力などをお伝えし、知内町からお借りした、湯の里5・6遺跡出土の土器についても、くわしい解説をいたしました。



15日 夜の博物館後期講座第2夜

「講師の人选がいいですね」と終了後に声を掛けられた今回の講師は、ピース函館の編集長の吉田智士氏。地域紙編集存続のための苦悩や大切にしているインタビューの心得など、普段は聞けない裏話をたっぷり聞くことができました。1か月の取材で、30人と会い、延べ4,500人に取材した結果、函館の「住んでいる人がおもしろい。」ということがわかったそうです。地元のカルチャーを発信し、記録をメディアに載せる大切さに触れた時間でした。



24日 ジュニア探検クラブ

「博物館に行こう!」と題し、ジュニア探検クラブで、市立函館博物館や函館公園の動物園、そして北海道大学総合博物館水産科学館の見学をしました。担当の方に解説いただきながら、箱館戦争に使われた銃器を見たり、海洋生物の剥製の大きさに驚いたり、途中生き物の観察をしたりしながら、歴史館とは違う役割をもつ博物館があることを学びました。今回の見学を通して、博物館が身近で、楽しいものと感じてもらえたなら、嬉しいです。



1	日
2	月 休館日
3	火
4	水
5	木 夜の博物館第4夜
6	金
7	土
8	日
9	月 休館日
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月 休館日
17	火
18	水
19	木
20	金 企画展「GAME」開催予定
21	土 ジュニア探検クラブ
22	日
23	月 休館日
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月 休館日
31	火

※休館日：2日、9日、16日、23日、30日

カマス背負子

カマス(吹)と書きます。わらむしろを二つ折にし、左右の両端を縄で閉じたリュックのようなもので、冬の山仕事に使用しました。



編集後記 ~tawagoto~

次の展示に向け、子どもの頃に流行ったゲームをリサーチすると、懐かしさとともに、そのアナログさに今さらながら驚く。でも当時は、クリスマス前の新聞折り込みのおもちゃのチラシを見たり、お年玉でどんなゲームを買おうか、考えるだけでわくわくした。ゲームに位置づけされるものは、広範囲だ。将棋やカルタ、ボードゲーム、携帯型ゲーム機まで実に多種だ。誰かのあの時の思い出に色を添える展示にしたいと蒐集と準備に余念がない日々である。

Pichart

~ピチャリ~

第218号

令和8年(2026年)2月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp